

事業番号	事務事業名	全日本ローラースキー鏡野大会事業費	所管課名	生涯学習課	令和 2 年度課長名	黒瀬 豊
06571	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	体育振興係	担当者・シート作成者	山本 翔大
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	ローラースキーかがみの大会実行委員会事務局を担い、補助金交付、選手募集・会場設営等の大会運営にあたる。大会開催に伴い、ダム管理所・警察署・消防署・漁協等と協議を行う。令和2年度の大会は中止となった。	この大会は以前西栗倉村で行われていたが、平成18年度より鏡野町内の実行委員会により開催することとなり、補助金550千円を交付することとなった。また、平成19年度からは実行委員会事務局が体育振興課となり現在に至る。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア クロスカントリー競技者	→ ア 県内のクロスカントリー競技者	人	見込 実績	28 0	28 7	28 0		
イ	→ イ 町内クロスカントリー競技者	人	見込 実績	2 0	2 0	2 0		
ウ	→ ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 大会に参加することで競技技術の向上に役立ててもら	→ ア 大会参加申込者数	人	目標 実績 達成率	100 0 0.0%	100 81 81.0%	100 0 0.0%		#DIV/0!
イ	→ イ		目標 実績 達成率					
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 大会の開催	→ ア 開催回数	回	目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 1 100.0%	1 0 0.0%		#DIV/0!
イ	→ イ		目標 実績 達成率					
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 10 教育費	項 07 保健体育費	目 01 保健体育総務費	大事業 中事業 05 01	予算上の事業名	事業番号						
						全日本ローラースキー鏡野大会事業費	06571						
予算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	決算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	550	550	0			-550	一般財源	0	550	0			-550
合計	550	550	0			-550	合計(A)	0	550	0			-550
財源名称	従事正職員人数						2	2	2				
	延べ業務事務時間						80	80	30				-50
	人件費計(千円)(B)						271	280	100				-180
	最終予算額	0 千円		予算執行率			トータルコスト(A+B)	271	830	100			-730
主な支出事業内容(予算)	補助金						0 千円						
	主な支出事業内容(決算)						補助金						0 千円

事業番号	06571	事務事業名	全日本ローラースキー鏡野大会事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-------------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 大会参加者数は下降の傾向にあるものの、大会の開催に合わせた合宿が行われるなど競技関係者間には大会の開催が認知されている。しかし、大会役員の高齢化・役員数の減少により大会運営が厳しい状況となってきた。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 町内のスキー関係者を中心に、近隣地域の関係者や苦田ダム管理所との連携の中で大会準備・運営を行うことが定着してきている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 大会開催に伴いコース整備等の準備にかなりの労力を要し不満の声も上がってきている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	町内のスキー人口は見受けられるが、町民の大会への参加が無いいため見直しの余地がある。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	町内には、県下最大のスキー場があり、スキー場の有効活用のために町が大会を支援することが必要である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	スポーツを積極的に行っている人や興味を持っている人が対象であるが、町内のスポーツの向上に寄与しているかは疑問である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	スキー人口は年々減少傾向にあり、指導者の育成ができたとしても選手育成には限度がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない <input type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	スポーツの価値をアピールする機会を失い、選手の練習の成果を発揮する場なくなるが、町内のスポーツの向上に寄与しているかは疑問である。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	令和3年4月27日に廃止が確定しているため、改善余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	令和3年4月27日に廃止が確定しているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	令和3年4月27日に廃止が確定しているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	参加者からは参加費を徴収しているため、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	令和3年4月27日ローラースキー実行委員会にて大会廃止が決定した。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		<div style="text-align: center;">今後の改革改善案</div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							